

令和4年度 事務事業評価シート(令和2・3年度実績)

事務事業名	議会だより発行事業						部局外			
総合計画の体系	目標	6	市民協働、行財政運営	基本	2	広域連携、行財政運営	分野	1	広報広聴、情報公開	議会事務局
SDGs目標	10	人や国の不平等をなくそう	16	平和と公平をすべての人に						庶務係、議事係

1. 事業の概要(Plan)

目的	議会活動の状況を一般市民に知らせ、市政への関心を高める。				
内容	広報広聴委員会を年8回開催し議会だよりの編集を行い、広報紙を年4回発行する。				
種別	自治事務(任意)	主体	外部委託	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	
	広報広聴委員会開催数	議会だよりの内容を協議する広報広聴委員会の開催数	目標	8	8	8	回	
		実績	8	8				
成果指標	指標名	説明	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	
	議会傍聴者数	議会に関心を持ち、本会議を傍聴に来た市民の数	目標	95	95	95	人	
		実績	112	90				
予算科目	区分	一般会計	款	1 議会費	項	1 議会費	目	1 議会費
事業費(千円)	R1決算額	R2決算額	R3決算額	R4予算額	R5予定額	R6予定額		
総事業費	4,018	4,126	4,026	4,600	4,600	4,600		
事業経費	1,890	1,998	1,898	2,472	2,472	2,472		
特定財源	0	0	0	0	0	0		
従事常勤職員数	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28		
従事非常勤職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
概算人件費	2,128	2,128	2,128	2,128	2,128	2,128		

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	必要性は高い	社会情勢を踏まえるとニーズは高い。
		対象の適切性	適切	対象者を変更する余地はない。
		主体の妥当性	市が推進すべき	記事に行政上の専門性を要する。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	感染症対策で傍聴自粛を求めたため減となった。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	比較検討した結果、現状が最低の経費である。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で指標の目標をおおむね達成できた。	
	手段の妥当性	妥当	効率的、効果的に事業を行っている。	
	事業の方針	継続	現状維持	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	他自治体では、広報広聴委員である議員が、より主体的に関わっているところもあると聞き及んでいるが、その場合、正確性を確保するため、却って事務局の手間が増えるケースもあるらしく、長短がある。
今後の取組み	令和3年度内にフルカラー化に着手するなど、改善に努めている。今後も内容の充実と、効果的で効率的な業務に向けて改善に努めていく。

令和4年度 事務事業評価シート(令和2・3年度実績)

事務事業名	会議録作成事業						部局外			
総合計画の体系	目標	6	市民協働、行財政運営	基本	2	広域連携、行財政運営	分野	1	広報広聴、情報公開	議会事務局
SDGs目標	10	人や国の不平等をなくそう	16	平和と公平をすべての人に						議事係

1. 事業の概要(Plan)

目的	会議の内容を市民に公開し、議会活動に対する市民の理解と信頼を確保する。				
内容	本会議及び各種委員会等についての会議録を作成する。				
種別	自治事務(義務あり)	主体	外部委託	対象・受益者	市民・議会

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明	年度				単位					
			令和2年度	令和3年度	令和4年度							
			目標									
			実績									
成果指標	指標名	説明	年度				単位					
			令和2年度	令和3年度	令和4年度							
			目標									
			実績									
予算科目	区分	一般会計	款	1 議会費	項	1 議会費	目	1 議会費				
事業費(千円)	R1決算額		R2決算額		R3決算額		R4予算額		R5予定額		R6予定額	
総事業費	5,289		5,174		4,483		5,440		5,440		5,440	
事業経費	2,477		2,362		1,671		2,628		2,628		2,628	
特定財源	0		0		0		0		0		0	
従事常勤職員数	0.37		0.37		0.37		0.37		0.37		0.37	
従事非常勤職員数	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
概算人件費	2,812		2,812		2,812		2,812		2,812		2,812	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	必要性は高い	社会情勢を踏まえるとニーズは高い。
		対象の適切性	適切	対象者を変更する余地はない。
		主体の妥当性	市が推進すべき	正確な記録を残すために行政上の専門性を要する。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	感染症対策で傍聴自粛を求めたため減となった。
		効率性	コストの削減	削減の余地あり
総合評価	費用対効果	効果あり		最小の経費で指標の目標を達成できた。
	手段の妥当性	見直しの余地あり		全庁的な会議録システムの導入により余地はある。
	事業の方針	継続		全庁的な会議録システムとの連携を検討

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	市のホームページに掲載してある会議録を利用する上での利便性を確保する必要がある。
今後の取組み	市のホームページ上での各種委員会等の会議録の公開について、他市の事例を研究する。

令和4年度 事務事業評価シート(令和2・3年度実績)

事務事業名	会議運営(法定)事務						部局外			
総合計画の体系	目標	6	市民協働、行財政運営	基本	2	広域連携、行財政運営	分野	1	広報広聴、情報公開	議会事務局
SDGs目標	10	人や国の不平等をなくそう	16	平和と公平をすべての人に						庶務係、議事係

1. 事業の概要(Plan)

目的	定例会、常任委員会、特別委員会等の会議を円滑に運営する。				
内容	会議の運営全般及びこれにかかわる事務処理を行う。				
種別	自治事務(義務あり)	主体	直営	対象・受益者	市民・議員

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	
			目標					
			実績					
成果指標	指標名	説明	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	
			目標					
			実績					
予算科目	区分	一般会計	款	1 議会費	項	1 議会費	目	1 議会費
事業費(千円)	R1決算額	R2決算額	R3決算額	R4予算額	R5予定額	R6予定額		
総事業費	18,924	18,924	18,924	18,924	18,924	18,924		
事業経費	0	0	0	0	0	0		
特定財源	0	0	0	0	0	0		
従事常勤職員数	2.49	2.49	2.49	2.49	2.49	2.49		
従事非常勤職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
概算人件費	18,924	18,924	18,924	18,924	18,924	18,924		

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	必要性は高い	法で定められた会議である。
		対象の適切性	適切	対象者を変更する余地はない。
		主体の妥当性	市が推進すべき	行政上の専門性を要する。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	感染症対策で傍聴自粛を求めたため減となった。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	比較検討した結果、現状が最低の経費である。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で指標の目標を達成できた。	
	手段の妥当性	妥当	法で定められた会議であるため。	
	事業の方針	継続	法で定められた会議であるため。	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	下妻市職員定数条例では議会事務局は6人となっているところを5人で運営しており、現時点で一定の経費削減は図られているといえるが、効率的・効果的な運営が求められる。
今後の取組み	業務プロセスの見直しやITの活用などによる効率的・効果的な運営を検討する。

令和4年度 事務事業評価シート(令和2・3年度実績)

事務事業名	会議運営(任意)事務						部局外			
総合計画の体系	目標	6	市民協働、行財政運営	基本	2	広域連携、行財政運営	分野	1	広報広聴、情報公開	議会事務局
SDGs目標	10	人や国の不平等をなくそう	16	平和と公平をすべての人に						庶務係、議事係

1. 事業の概要(Plan)

目的	月例会、任意委員会の会議を円滑に運営する。				
内容	会議の運営全般及びこれにかかわる事務処理を行う。				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民・議員

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位
	月例会開催回数	月例会(定例会、臨時会等のない月に開催)の回数	目標	-	-	6	回
		実績	6	6			
成果指標	指標名	説明	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位
	一般質問件数	定例会における一般質問の件数	目標	-	-	50	件
		実績	51	50			

予算科目	区分	一般会計	款	1 議会費	項	1 議会費	目	1 議会費	
事業費(千円)	R1決算額	R2決算額	R3決算額	R4予算額	R5予定額	R6予定額			
総事業費	3,116	3,116	3,116	3,116	3,116	3,116			
事業経費	0	0	0	0	0	0			
特定財源	0	0	0	0	0	0			
従事常勤職員数	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41			
従事非常勤職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
概算人件費	3,116	3,116	3,116	3,116	3,116	3,116			

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	必要性は高い	情報交換及び議会の自律性の観点から必要。
		対象の適切性	適切	対象者を変更する余地はない。
		主体の妥当性	市が推進すべき	行政上の専門性を要する。
	有効性	指標の実績	達成できた	おおむね例年どおりの実績となった。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	比較検討した結果、現状が最低の経費である。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で指標の目標を達成できた。	
	手段の妥当性	妥当	情報交換及び議会の自律性の観点から妥当。	
	事業の方針	継続	現状維持が妥当。	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	月例会は、執行部と議会の定期的な情報交換の場として、また、任意委員会(議会改革検討委員会、広報広聴委員会等)は議会の自律性・自主性の観点から開催されている。現状として、適切に機能していると思われる。
今後の取組み	業務プロセスの見直しやITの活用などによる効率的・効果的な運営を検討する。